

川口脳神経外科リハビリクリニック 第2回倫理審査委員会

令和2年7月14日(火) 19時00分～20時30分 会場：3階リハビリ室

会場参加：川口琢也、古川大輔、壹岐伸弥、新田麻美、島るりか

Web参加：森田泰久、南恵理子、神田明香里、木村友紀

参加人数合計：9名 司会：壹岐 書記：島 議事録作成：壹岐

事務局より前回開催からの修正点について

- ・申請書類の統一を実施。
- ・倫理的配慮に関する内容の審議を行うようチェックリストの作成を行った。

議題①『訪問リハビリテーション利用者家族の介護への主観的習熟感が介護負担感に与える影響』

川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 知花朝恒

指摘事項

- ・介護者が指導者(療法士)に不満がある場合等(リハビリがうまくないなど)に、アンケートを回答しにくいと思うので、アンケートの回答者を変えた方が良いのではないかと？
- 対応方法→直接の回収ではなく、置き型の封筒などを使用する。

審議結果：承認

議題②『通所リハビリテーションでの目標設定に基づく関わりが要介護者の生活の質に及ぼす影響』

川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 三上純

指摘事項

- ・利益相反、利害の相反を説明書・同意書に記載した方が良いのではないかと。
- ・中止基準を具体的に明記した方が良いのではないかと。

審議結果：条件付き承認

承認に関する条件：説明書・同意書へ利益相反に関する事項を追記すること

議題③『パーキンソン病患者の転倒と臨床・在宅場面におけるすくみ足の関係性の検討』

川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 平田康介

指摘事項

- ・利益相反、利害の相反を説明書・同意書に記載した方が良いのではないかと。

審議結果：条件付き承認

承認に関する条件：説明書・同意書へ利益相反に関する事項を追記すること

議題④『生活期リハビリテーション対象者の運動に関する健康行動へ共有意思決定と動機づけが及ぼす影響』川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 平田康介

指摘事項

- ・利益相反、利害の相反を説明書・同意書に記載した方が良いのではないかと。

審議結果：条件付き承認

承認に関する条件：説明書・同意書に利益相反に関する事項を追記すること

議題⑤『脳卒中後疼痛の神経リハビリテーション予後を推定するモデルの構築』

川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 壹岐伸弥

指摘事項

なし

審議結果：承認

議題⑥『当院における頭痛教室対象者の特徴～頭痛教室対象者と投薬治療のみの患者の比較～』

川口脳神経外科リハビリクリニック リハビリテーション科 新田麻美

指摘事項

なし

審議結果：承認